

【やまゆ連・手作りカフェー】

## カラムシ繊維は花の咲く前の茎から

9月5日(土) 10:00 ~ 12:00 於:平和台集会所

夏恒例のカラムシの繊維採りをしました。2016年9月3日のレポート、偶然、私が担当し「これまでのヤマユ連レポートを見ると、カラムシ繊維採りは7月に4回、6月に1回、9月に繊維採りをしたのは初めて」と書いています。その後2017,18年は7月、昨年は9月の記録がありました。

この日「花の咲く前の茎を採ってきました。花が咲いた後の繊維は固くなっているの」と初めて聞きました。

また、「カラムシ繊維の釣り糸があるので今度持ってきてましよう」というKさんのお話もありました。

今回、私はTVで見た新潟の小千谷縮「手うみの糸」をイメージして、少量でよいので純粋な繊維を燃してみようと試みました。皮の不純物を取除

いた繊維は、なるほど小千谷縮に近づいた感じがしました。ただ、繫いで燃って長い糸して、織物にするには、高い技術と膨大な労力が必要と改めて思いました。一方、最初から長い1本から始まる絹は織物に合理的に思えます。

夏の衣服に、カラムシや麻などは涼しく魅力的です。カラムシの場合、その工程は今の時代にそぐわないのでしょうが、何か特別な豊かさを感じます。

(斎藤光代)

カフェメニュー:栗蒸しようかん

